

北 村さんが訪問する方の一人、佃民子さん（82歳）。20年ほど前、夫の介護で民生委員さんのお世話になり、一人暮らしになってからも交流が続きました。北村さんとは、6年前からのお付き合いで、現在は、月に3、4回の訪問を心待ちにしています。

「北村さんとは、普段の何でもないことや、町内のこと、病気のことで、いろんなことを話します。いつも私のことを心配してく

佃さんとの間に生まれた「思いやり」の糸

「北村さんにも「佃さんは人生の大先輩。いろんな話を聞かせてもらっています。訪問のときは、体調を崩していないか、悪質商法などに遭っていないか、心配して話をしますが、逆に、私の方が教わることが多いです」と、佃さんへの思いを話します。

「困ったときはお互いさま」北村さんの「思いやり」は、これからの地域に広がっていきます。

悪質商法に遭わないよう、チラシを見せて説明する北村さん。こういった活動の積み重ねが、大きなトラブルを防いでいます。



「困ったときはお互いさま」北村さんの「思いやり」は、これからの地域に広がっていきます。

一 人だとかあったときが不安。北村さんがいると本当に心強い」と話す佃さんに対し、「大変なときもあったので、今、元気な姿を見るだけでうれしい。この状態が続くよう

「困ったときはお互いさま」北村さんの「思いやり」は、これからの地域に広がっていきます。

ありがとうございますの「声」が私を支えています

「佃さん以外にも17人の高齢者を訪問したり、子どもを持つ親御さんや障害者の方を訪問したりして、いろんな相談を受けます。中に

は、話を聞いてあげるだけで気が晴れる方もいれば、行政と一緒に解決にあたるときもあります。大変だなと感じるときもありますが、訪問した方が元気になるっていく姿、そして「ありがとう」の「声」が、私の心を支えています。地味な活動ですが、これからもできる限り頑張っていこうと思います」



佃さん

北村さん

特集

最近寒いから、風邪には気をつけてね。

ありがとう。1枚多く着るようにするわ。

地域を支える思いやり

民生委員・児童委員さん

「高齢で一人暮らしなので不安」「子どもが引きこもりがち」「親の介護に疲れている」……。地域の中には、さまざまな悩みを持つ人がいます。こういった声に耳を傾け、相談に乗っているのが「民生委員・児童委員」の皆さんです。

地域を回り、困っている人に温かい声を掛ける“思いやり”の心。今月は、地域社会を陰で支える、民生委員・児童委員さんの思いに迫ります。

活動現場に密着！

舞崎町2丁目担当

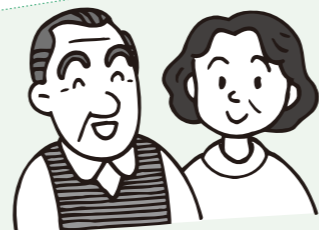
北村幸子さん

声掛けを大切に

北村さんは、委員の活動を初めて6年目。日頃は、一人暮らし高齢者の訪問を中心に、子育てに

悩む親御さんや障害者への声掛け、生活に困っている方の相談など、さまざまな活動をしています。「とにかく、顔見知りの人には声を掛けますね。道端で会えば、あいさつや立ち話をしたりして、様子を確認します。少しでも気になることがあれば、後日訪問したり、どうしても連絡

民生委員・児童委員さんって？



幼児から高齢者まで、地域のすべての人を支援する社会奉仕者です。身分は、特別職の地方公務員ですが、給料の支給は受けません。任期は3年で、市内各地区に143人の委員がいます。ふつうは、「民生委員」と略して呼ばれることが多いです。活動内容は、高齢者や障害者、子育てに悩む親御さんの相談などさまざまですが、ほとんどの地区では、一人暮らし高齢者の安否訪問が主な活動となっています。また、民生委員・児童委員の中に、「主任児童委員」という専ら児童に関わる相談・支援を担当する方がいます（市内で12人）。

民生委員・児童委員さん



地域の相談役として、市内各地で活躍する委員の皆さん。『どんな相談が多いの?』『いつも心掛けていることは?』『やりがいは?』……。

「敦賀市民生委員児童委員協議会連合会」会長の奥田秀雄さん、副会長の神谷明子さん、野津昇造さんの3人にお話を伺いました。



神谷さん 奥田さん 野津さん

Q どんな相談が多いですか?

【野津】 高齢者の方と話すことが多いので、「体の調子が悪い」「足や腰が痛い」といった、病気に関する話が多いですね。最近では、認知症に関する相談もあります。症状が重いときには、地域包括支援センターに相談して、一緒に解決にあたります。

Q どんなときにやりがいを感じますか?

【奥田】 やはり「民生委員さん、ありがとう」という言葉を掛けられたときですね。その一言があれば、他は何にもいりません。それは、どの委員さんも同じだと思います。いろんな相談を受け、大変なことが多いですが、感謝の言葉があれば、そんな苦労も一遍に吹き飛びます。

Q 今後の目標は?

【神谷】 民生委員・児童委員の「行動宣言」というのがあります。その宣言通り、地域のために、地道に活動を続けていきたいと思っています。特に、宣言5番目に記載されている災害時の対策は、重要な問題です。敦賀は災害が少ないまちと言われています

* 民生委員・児童委員行動宣言

- 1 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。
- 2 地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。
- 3 児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。
- 4 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます。
- 5 日頃の活動を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行います。

災害時の対策をもっと進めていきたいです。



【奥田】 が、いつなんどき、起こるかわかりません。今後は、委員だけでなく、区長さんや行政と協力しながら、要援護者の把握など、事前対策を進めていきたいと思っています。

【奥田】 先月、新しい取り組みとして、「向こう三軒両隣」の助け合いの集い」というものを行いました。これは、地域の絆を深めるために、民生委員だけでなく、福祉委員や一般の方も集まり、みんなで地域福祉について話し合いました。参加者からは、「毎日のあいさつを大切にしたい」「近所のことをもっと気に掛けていきたい」などの意見が出て、集いを実施して良かったと思います。今後は、委員活動の充実はもちろん、このような地域を巻き込んだ活動を、積極的にすすめていきたいと思っています。

Q いつもどんなことを心掛けていますか?

【野津】 たくさん話を聞きたいので、最初は、天気のことなど、何気ない会話から始めます。そして、「風邪は治った?」「心配ごとはない?」と話を広げていき、体と心の調子を確認します。また、一人暮らしの高齢者のお宅は、火災が心配なので、「火災報知器が付いているか」「鍋を焦がしたりしていないか」など、いつも気に掛けています。

たくさん話を聞き、体と心の調子を確認します。



【神谷】

私も、担当している方の顔色がよいか、様子がおかしくないか、気にしながら話を聞いています。特に、身寄りのない方や、親兄弟が近くにいない方は心配です。症状が重いときは、一緒に病院まで連れていくこともあります。手遅れにならないよう、日々の訪問では、少しの変化も見逃せません。

Q 市民の皆さんに伝えたいことは?

【野津】 子育てや介護、経済的な問題など、どんなことでもよいので、気軽に相談してほしいなと思います。当然、解決できることとできないことがあります。まずは、話を聞かないと始まりません。委員は、日頃から「行政のパイプ役」として活動しているの、適切な機関の紹介や、連絡調整ができます。知り合いや近所の方のことでも構いません。まずは連絡をください。

【奥田】

民生委員の活動は、地域の実情に応じて、委員のできる範囲で行っています。当然、地域によって活動内容に差はありますが、どの委員も、地域福祉向上のために頑張って活動しています。先ほども言った通り、皆さんのちょっとした気遣いが、活動の励みです。これからも、少しでも皆さんの役に立てるよう、活動を続けていきますので、どうか温かく見守ってください。よろしく願います。

委員の活動を温かく見守ってください。

